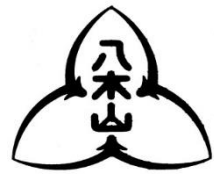


八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

令和5年8月28日発行

38日間の夏休みが終わり、子どもたちのとびっきりの笑顔と明るい声が学校に戻ってきました。今年は例年を上回る暑さの厳しい日が続きましたが、事故や大きな病気の報告はなく、どの子どもも楽しい夏休みを過ごすことができましたようです。ご家族や地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。



第Ⅱ期には、修学旅行や宿泊研修、社会見学・校外学習、ふれあいドリームデイなど、子どもたちが楽しみにしている行事が多く計画されています。日常の学習や生活が何より大切ですが、普段と違う体験ができる行事は、学級や児童一人一人を大きく成長させる絶好のチャンスとなります。スポーツフェスティバルの時のように、学級目標をもとに願う学級や自分の姿を明確にし、事前取組を通して力を付け、行事当日を迎えられるように指導していきます。毎日の生活や学習と行事を線でつなぎ、どの学級も、どの子どももさらに成長できる第Ⅱ期にしたいと思います。第Ⅱ期も八木山小学校と子どもたちの応援を、どうぞよろしく願っています。

『高め合う』ことを目指す第Ⅱ期(81日間)に

各務原市内の小中学校は前後期の2期制ですが、本校では、長期休業を一つの節目として捉え、4月から夏休みまでを第Ⅰ期、夏休み明けから冬休みまでを第Ⅱ期、冬休み明けから3月末までを第Ⅲ期とし、「かかわり合う第Ⅰ期」「高め合う第Ⅱ期」「みがき合う第Ⅲ期」として、学校生活に対する意識をつなげ、よりよい学校・学級・自分づくりに向かうことができるように留意しています。

前号でお伝えしたように、第Ⅰ期は、スポーツフェスティバルや委員会活動を通して、子どもたちの成長が感じられました。どちらも互いに声をかけ合い、その声に応え合うこと＝かかわり合うことができたからこそその成長だと考えています。第Ⅱ期には、先に書いた様々な行事に加えて、11月には「各務原市ジャンプアップ公表会」があり、算数の授業を市内の先生方に見ていただく機会もあります。生活・学習・行事など様々な場面で、第Ⅰ期以上に仲間とのかかわり合いを大切に、互いのよさをさらに伸ばすと共に、それぞれのもつ弱さを乗り越え、高め合うことができる第Ⅱ期にしていきたいです。そのために、学校生活の主体は子どもたち自身であるという意識をもたせ、自分にとって仲間にとってもよいと思うことを子どもたちが主体的に考え、行動に移し、仲間と力を合わせてやりぬくことができるように導いていきたいと考えています。

☆愛校活動

今年度も、PTA研修委員会が計画して下さり、6年生児童とその保護者の皆さんの協力を得て、8月19日(土)に愛校活動を行いました。夏休み中の休日の早朝にも関わらず、60名ほどが参加してくださいました。普段の掃除ではなかなか手の行き届かない窓やトイレを中心に、教室や廊下まで掃除をしてくださいました。おかげさまで、きれいになった教室で第Ⅱ期をスタートすることができます。ありがとうございました。

